

予報期間 11月26日から12月2日まで

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- 28日は、低気圧が発達しながらサハリン付近に進み、大陸の高気圧が朝鮮半島付近に移動し西日本に張り出す。
- 29日は、高気圧が東日本付近に移動し、低気圧が中国東北区に進む。
- 30日は、高気圧が日本のはるか東に移動し、低気圧が発達しながらオホーツク海に進む。気圧の谷が日本海にのびる。
- 12月1日は、低気圧が日本海からオホーツク海に進み、高気圧が華中沿岸に移動する。
- 2日は、低気圧がオホーツク海を北東進し、東シナ海の高気圧が東日本に張り出す。

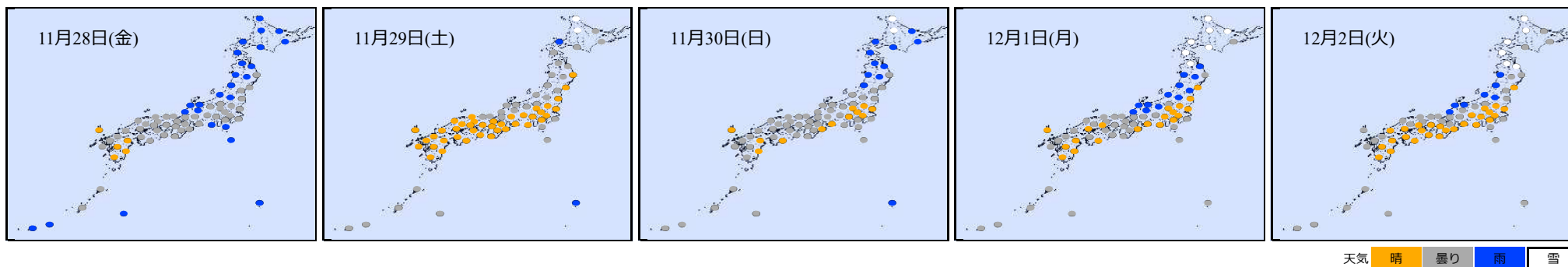
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 28日から29日頃は、低気圧の影響で北日本では荒れた天気となり、低気圧の発達程度等によっては大荒れとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

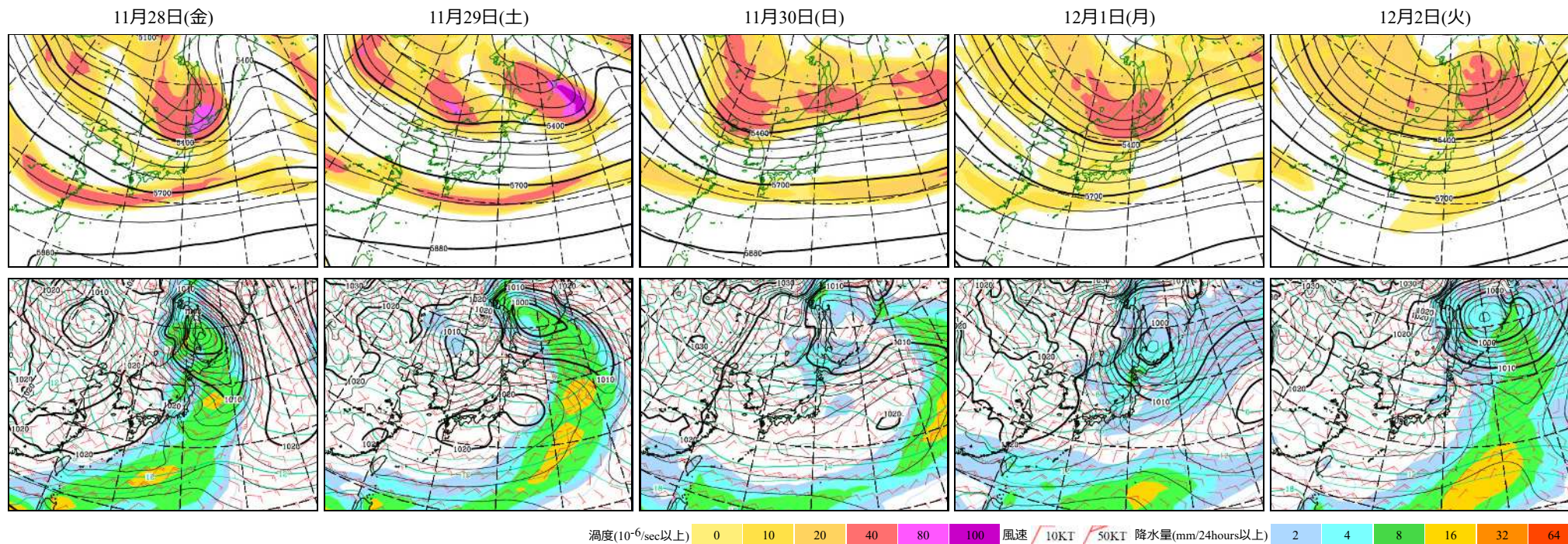
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

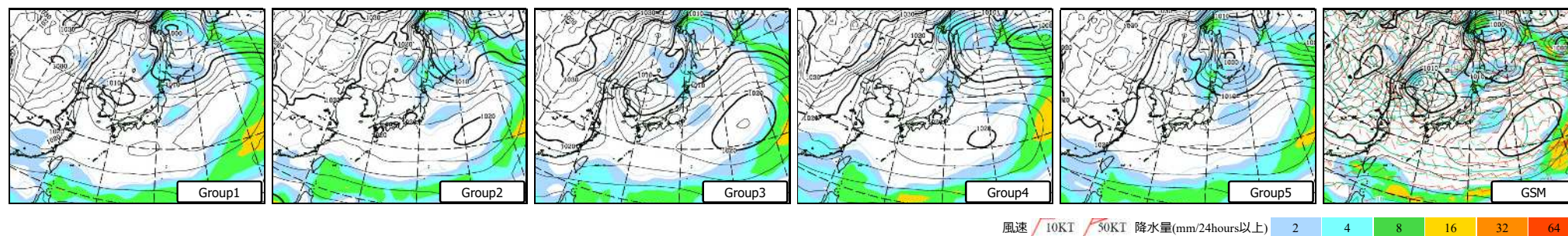


- 北日本と東日本日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多い。
- 東日本太平洋側は、晴れまたは曇りの日が多いが、28日は雨の降る所がある。
- 西日本は、晴れまたは曇りの日が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく28日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆11月30日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、28日から29日にかけてサハリン付近からオホーツク海に進む低気圧が強くなり、朝鮮半島付近から東日本に移動する高気圧が強くなった。30日はオホーツク海の低気圧が弱くなったが、日本海の気圧の谷が深くなった。
- 降水確率ガイダンスの値は、30日は北陸で低くなった。1日は北日本で高くなった。
- スプレッドは比較的小さいが、期間後半の高低気圧の位置にはモデル間に差が見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。